

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3823008	韓国語会話Ⅱ	木村 淑			1	選択	1, 2後期
科目の概要							
韓国語の文字（ハングル）及び、基礎文法を学修する事によって、簡単な日常会話ができるようにするのを目標にする。韓国語を修得する際に難しく思いがちな発音や単語を日本語と比較しながら勉強する事で、両国の言葉の類似点、相違点を気づかせ韓国語の理解力を高める。「読む、書く、聞く、話す」ことをバランス良く入れ、コミュニケーション能力を中心に社会人基礎力を高め、韓国の生きた文化や生活習慣に触れ、韓国語の理解を深めることを目指す。これらはディプロマ・ポリシーの②③④に関連しています。							
学修内容				到達目標			
① パッチムがある単語の読み方を習得する ② ㅏㅑ体を習得する ③ 否定形を習得する ④ 過去形を習得する ⑤ 動作の目的や仮定、計画の形容詞の連体形表現を習得する				① 単語を正しく発音することができる。(DP②) ② 日常会話の表現が広がることできる。(DP③④) ③ 韓国語の表現を更に向上することができる。(DP③④) ④ 日記を書くことできる。(DP②) ⑤ 会話の表現を工夫して伝えることできる。(DP③④)			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	韓国語の読み、書き、聞きを達成という目標に向かって自ら積極的に教科書や音声聞きながら、自己学習に取り組むことができる。					
	働きかけ力	コミュニケーション能力を高めるため、他者に声掛けをして韓国語の会話練習に取り組むことができる。					
	実行力	韓国語で日常会話を言えるように文法や発音を繰り返し練習し最後までやり遂げることができる。					
考え抜く力	課題発見力	韓国語の学習の上で、自分で課題を見つけ改善を図ることができる。					
	計画力	<ul style="list-style-type: none"> 発表の準備や課題を、期間守りやり遂げることができる。 グループ内での役割分担、手順を順序よく進めることができる。 					
	創造力	日本語との語順の類似性を生かして、自ら韓国語で文章を考えることができる。					
チームで働く力	発信力	自己紹介や韓国語の作文を、聞き手に分かりやすい発表の仕方や話すポイントが整理されて発表することができる。					
	傾聴力	他者の発表やグループワークの中で他者の意見をしっかりと傾聴して、コミュニケーションを楽しむことができる。					
	柔軟性	韓国語の学習を通じて、隣国の異なる文化や思想を持つ人々の気持ちを理解することができる。					
	状況把握力	自分に割り当たられたことだけではなく、グループで、自分ができることを考え、目標に向かって協力できる。					
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。					
テキスト及び参考文献							
テキスト：「ひかりとシフのどきどき韓国語」都恩珍監修／李正子・金昭鎭著 朝日出版社 2,640円（税込）							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：「韓国語会話Ⅰ」 資格との関連：なし							
学修上の助言				受講生とのルール			
日本語と語順が類似しているので、各単元の単語をしっかり暗記することで、韓国語が話せるようになります。話せるようになるとさらに韓国語に興味を持って、楽しく学ぶ事が出来ます。				<ul style="list-style-type: none"> 授業中、携帯電話は電源を切り、カバンに入れておくこと。 出された課題は積極的に取り組む。 グループワークに積極的に参加すること。 			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	40	①		・後期に実施した小テストやプリントを中心に、授業で学習した内容の理解度を確認する。(40点)	
			②	✓		
			③	✓		
			④			
			⑤	✓		
	平常評価	小テスト	20	①	✓	①小テスト1は、単語と表現の読み書きを中心に出题する(20点) ・場合によっては聞き取りテストも行う ・出題範囲は前回の授業で学習した内容とする ・返却されたテストで間違えた問題をテスト用紙に正しく書き直して、再提出する ・すべての小テストの点数の平均点を基準に、成績評価に反映する ・欠席届を提出した学生と、先生に申し出た学生は次の授業前、又は授業後に小テストを受けること ・無断で欠席した学生は小テストを受けることができず0点になる可能性がある
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
		レポート	10	①		課題は①返却されたテストの間違えた問題を再度間違いのないよう解いて提出する ②学習状況に合わせた歌の歌詞、日記など作文を提出する。 ・学習状況によっては、上記に加え、プリント解いて提出する場合があります ・間違いがある場合、指示通りにやれてない場合は再提出と減点になる
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
		成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)	20	①	✓	①テキストの本文をペアで口頭発表し、以下の点を基準に評価する(5点) ・暗記して発表すること ・正しい発音で発表すること ・個人ではなく、ペアの評価で点数がつく ②「韓国語でアイドルの歌を発表」グループで歌唱、又は朗読し、以下の点を基準に評価する(5点) ・韓国語の歌詞を正しい発音で歌えるか ・大きい声でリズムに合わせて歌えるか ・個人ではなく、グループ全体の評価で点数がつく ③日記の口頭発表を行い、(5点) ④作文を発表する(5点) 以下の項目を基準に点数をつける ・正しく暗記して発表出来るか ・正しい発音で発表出来るか ・適切な表現を使った文章であるか
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	(主体性) ・語学力を身につけるために、自ら予習、復習をすることができる。 (実力) ・授業で学習したことを日常的な場面で意欲的に取り入れる。 (課題発見力) ・様々な場面で使える表現を意識し、意欲的に取り組むことができる。 (創造力) ・課題に対して、学修した文法や単語を応用して、表現することができる。 (発信力) ・聞き手に分かりやすく、自ら考え工夫して発表する。 (傾聴力) ・話し手の話を聞き、しっかり聞くことができる。 (規律性) 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀) 期末試験、小テストが90%以上であり、レポートの提出、授業中の態度、発表、グループワーク活動が優れている。</p> <p>A(優) 期末試験、小テストが89%~80%以上であり、レポートの提出、授業中の態度、発表、グループワーク活動に積極的に参加できる。</p>	<p>B(良) 期末試験、小テストが79~70%以上であり、授業中の態度、発表、グループワーク活動に意欲的に参加できる。</p> <p>C(可) 期末試験、小テストが69~60%以上であり、授業中の態度が良好で、用言の해요体、否定形、過去形の読み書きができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション ・授業の進め方や取り組み方 ・激音、濃音を学ぶ。 (前期学習内容の復習と応用)	講義 演習 発音練習 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	激音、濃音を読むことが理解できる。 授業で使う挨拶ができる。	(復習)激音、濃音の文字の読み書きができるように復習する。 (予習)激音化、濃音化、連音化する単語を音読する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
2	激音化、濃音化、連音化を学ぶ。(前期の学習内容の復習と応用)	講義 発音練習 演習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対してクラスルームを通じてフィードバックする	激音化、濃音化、連音化による、発音の仕方を理解し正しく発音することが出来る。	(復習)激音化、濃音化、連音化した単語を読み書き繰り返し練習して、単語を読めるようにする。 (予習)パッチム、合成母音を音読する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
3	パッチム、合成母音を学ぶ。(前期学習内容の復習と補充)	講義 発音練習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) グループワークのため、グループを決める	パッチムと合成母音を読むことができる。	(復習)パッチムがある単語を正しく音読する。 合成母音の単語の読み書きを復習する。 (予習)歌の発表のため、歌詞を音読する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
4	文法編 第7課 何に興味がありますか? ①해요体I「～です/ます」 ・韓国語の歌詞を正しく読む。	講義 発音練習 演習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	へよ体を言うことが出来る。 韓国語の歌詞を正しく発音することが出来る。	(復習)へよ体の読み書きを練習する。へよ体を言えるように繰り返し音読する。 (予習)韓国の歌をグループごとに練習をする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
5	韓国の歌をグループごとに歌う。	グループ発表 発音練習	韓国の歌を歌うことで、単語の意味と発音の仕方を習得することが出来る。	(復習)歌詞に出る単語を音読する。 (予習)文法編7課の単語を覚える。	90	働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 状況把握力 ストレスコントロール力
6	文法編 第7課 何に興味がありますか? ①해요体I「～です/ます」 ②～부터「～から」を学ぶ。	講義 演習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	「～から」とへよ体を使って簡単な会話が出来来る。	(復習)へよ体の読み書きを練習する。へよ体を言えるように繰り返し音読する。 (予習)8課の単語を覚える。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	文法編 第8課 このバス、北村に行きますか? ①해요体II 해요体について学び、用言を中心に新しい単語を覚えるようになることを目的とする。	講義 演習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	へよ体を言うことができる	(復習)へよ体の読み書きを練習する。へよ体を言えるように繰り返し音読する。 (予習)へよ体の否定形を音読する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
8	文法編 第8課 このバス、北村に行きますか? ①～(이)나「～や」 ②안 +用言「～ない」を学ぶ。 否定形をマスターして韓国語の表現範囲を広げるようになることを目的とする。	講義 演習 発表 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	へよ体を言うことができる。 否定形を言うことができる。	(復習)へよ体と否定形を繰り返し練習し、読み、書きができるようにする。へよ体と否定形を繰り返し音読する。 (予習)9課の単語を覚える。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	文法編 第9課 昨日ジフさんと北漢山に行った。 ①~았/었/였다 「~た」過去形 I 過去形を言えるようになることを目的とする。	講義 演習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	用言と名詞の過去形を言うことができる。	(復習)へヨ体と否定形を繰り返し練習し、読み、書きができるようにする。へヨ体と否定形を繰り返し音読する。 (予習)原因の「~て、ので」、並列の「~で、て」の文法事項を音読して練習課題を解く。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
10	文法編 第9課 昨日ジフさんと北漢山に行った。 ①~아서/어서 이어서/여서 「~て、ので」原因 ②~고 「~で、て」並列を学ぶ。 原因と結果の会話が出来るところを目的とする。	講義 演習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	過去形を言うことができる。 原因と結果の文章を作ることができる。 並列の文章を作ることができる。	(復習) 過去形を言えるように復習する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
11	へよ体の現在形、過去形の総復習 へよ体と原因、並列の文法事項を連結して会話が出来ようになることを目的とする。	講義 演習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	過去形を言うことができる。 原因の結果の文章を作ることができる。 並列の文章を作ることができる。	(復習) 過去形を言えるように復習する。 (60分) (予習) 過去形を使って日記を書く。(30分)	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
12	文法編 第11課 ①「~でした、ました(か?)」過去形の해요体	講義 演習 小テスト(間違えた問題を解きなおして提出する) 学生の質問に対してクラスルームを通じてフィードバックする	過去形のへよ体を言うことができる。	(復習) 過去形のへよ体を言えるように復習する。 (予習) ~しに、~ればの文法事項を音読する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
13	文法編 第10課 トムヤンクンを食べに行きます。 ①~(으)러 「~しに(行く/来る)」 ②~(으)면 「~れば、なら、たら」 動作の目的や仮定、計画を立てる文章を作るようになることを目的とする。	講義 演習 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	長文を書くことが出来る。 習った文法事項を使って表現豊かな会話が出来来る。	(復習) 動作の目的や仮定、計画を立てる文章を作る。 (予習) 10課の単語を勉強をする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	文法編 第10課 トムヤンクンを食べに行きます。 ③~(으)려고 하다 「~しようと思う」を学ぶ。 動作の目的や仮定、計画を立てる文章を作るようになることを目的とする。	講義 演習 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	目的や仮定、計画を立てる文章が書けるようになる	(復習) 文法事項を総復習して、文章の組み立てが出来るようにする。 (予習) 本文発表に備えて練習する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	①~(으)러 「~しに(行く/来る)」 ②~(으)면 「~れば、なら、たら」 ③~(으)려고 하다 「~しようと思う」の文法事項を復習する。 日記を発表する	講義 発表 フィードバック	長文を書くことが出来る。 習った文法事項を使って表現豊かな会話が出来来る。	テキストに出る日常会話の表現を総復習をする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力